

【68】 応仁の乱

○将軍の後継者争い	
・	(義政の弟)
・	(義政の子 のちの9代将軍)
○	
西軍 (山名方)	東軍 (細川方)
(義政の弟)	(義政の子)
	(義政の妻)
	VS
畠山持国・畠山義就	畠山政長
斯波義廉	斯波義敏
大内・一色・土岐・六角	赤松・京極
結果	
・ 決着はつかず、京都は荒廃	
・ 全国に の雰囲気がおこる →	
(国人一揆の多発、守護代による実権把握)	
・ (軽装・徒歩で戦闘に参加した兵士) の登場	

◇義政の死後

- …守護の 氏を国外に追い出す
→ 8年間にわたり自治を行う
- …国人と浄土真宗の信者が手を組み、守護の を倒す
→ 以後、100年にわたり一揆が国を支配
「 」と言われる